

FOOT LOCKER, INC.

ビジネス 行動規範



目次

メアリー・ディロンからの メッセージ	3	チームワーク	11	財務の完全性	22
		生産的な職場環境の構築	12	財務の完全性の維持と不正防止	23
		個人データの保護	13	インサイダー取引の防止	24
		会社の資産と機密情報の保護	14		
		責任あるコミュニケーション	15		
当社のコアバリュー	4			コミュニティへの貢献	25
				良き企業市民の実践	26
行動規範について	6	当事者意識と透明性	16	政治プロセスへの参加	27
行動規範について	7	利益相反の回避	17	賄賂と腐敗の防止	28
協働	8	贈り物と接待の受領	19	競争法の遵守	29
Our Locker Room	10	ベンダーおよび第三者との関係の保護	20		
				コンプライアンス	30
				免除と承認	31
				証明書のリソース	32

メアリー・ディロンからの メッセージ

Foot Lockerのビジョンは、スニーカーカルチャーを通じて繋がれたインクルーシブなグローバルコミュニティを鼓舞し、結束をもたらすことです。ビジネスの目的を達成するためには、コアバリューに沿って、力を合わせて業務に取り組む必要があります。

私たちは、お互いに、またサービスを提供するさまざまなステークホルダーに対して、信頼、尊重、そして**ビジネス行動規範**が示す最高の倫理基準に基づく文化を維持する責任があります。

何を行うかだけでなく、どのようにそれを行うかも同じくらい重要です。すべてのチームメンバーは、行動規範に精通し、リーダーシップの発揮やお互いに協働する方法を理解して推進する必要があります。

行動規範は、起こる可能性のある問題をすべて網羅しているわけではありませんが、常に正しい行動や意思決定をするための指針となるものです。

もし疑問や違反行為への疑いがある場合は、あなたには報告する責任があり、安全な環境も整備されています。部門リーダー、人事部門パートナー、ビジネス行動規範ホットライン、または行動規範に記載されている他のリソースのいずれかに連絡することができます。

私たちは、共に日々の業務に取り組む中で行動規範を実践することにより、なおいっそうインクルーシブな文化を築き、Foot Lockerが目指すビジョンと価値観を実行に移していきます。Foot Locker, Inc.

社長兼最高経営責任者 (CEO)
メアリー・ディロン



CEOからの
メッセージ

当社の
コアバリュー

行動規範について

チームワーク

当事者意識と
透明性

財務の完全性

コミュニティへの
貢献

コンプライアンス



リーダーシップ

尊重、鼓舞、成長、エンパワーメント

インテグリティ

正直に、倫理的に、誠実に行動する

当社の コアバリュー

サービス

内外の顧客に卓越した
サービスを提供する

チームワーク

協働、信頼、支援、コミットメント

イノベーション

新しいアイデアを
創出し育成するために、
ビジネスを学ぶ

目的をもってリーダーシップを発揮する

私たちは、従業員が自らの能力を十分に発揮できるための取り組みを行っています。皆の情熱によって、コアバリューに沿いながら当社のビジョンを達成できると信じています。私たちの協力的な職場環境では、すべてのチームメンバーをリーダーとして認識しています。

個人として貢献する場合であっても、チームを導く立場であっても、**リーダーシップはあなたから始まります！**
リーダーシップの資質として、一人ひとりに期待する基準を、以下のように設定しています。



変化のリーダーシップを育成する

- ▶ 変化の推進者となる
- ▶ 率直な考え方を体現する
- ▶ 不確実性の中で成長する
- ▶ 変化を通じて人々を支援する



パフォーマンスを向上させる

- ▶ 効率を高める
- ▶ ハイパーコラボレーションにより結果を出す
- ▶ 自分と他者に責任を持つ
- ▶ 過ちから学ぶ



顧客にこだわる

- ▶ 内外の顧客の期待を超えることを目指す
- ▶ 顧客の興味やニーズを積極的に学ぶ
- ▶ 目的を理解しつなげる
- ▶ チームメンバーを尊重する



人材を育成する

- ▶ 多様な視点を受け入れる
- ▶ 教え、指導する
- ▶ フィードバックを提供し、受け取る
- ▶ 成長を促進する



将来に焦点を当てる

- ▶ 戦略を実行に移す
- ▶ 事業を前進させる
- ▶ 現状に挑戦する
- ▶ 共通の目的と信頼を構築する

行動規範 について

行動規範について

行動規範について	7
協働	8
Our Locker Room	10

行動規範について

Foot Lockerは、情熱と目的をもってリーダーシップを発揮しています。すべてのチームメンバーが、当社のビジネスや評判に影響を与える決定権を持っています。ビジネス行動規範は、内部向けのガイドブックです。私たちの仕事や、従業員同士、顧客、ビジネスパートナー、競合他社とのリーダーシップのあり方を形づくる高い誠実さと倫理基準を示すものです。行動規範および関連ポリシーは、経営陣、執行役員、その他のチームメンバー、取締役会を含む世界中のチーム全体に適用されます。

私たちは、起こりうるあらゆる出来事に備えて最善を尽くしても、実際にどのような困難が訪れるかは正確に予測できません。そのため、状況を評価し、柔軟に対応し続けることが必要です。不確実な状況、曖昧さ、そして変化する職場環境を乗り越えていく過程では、最善の判断と常識が求められます。

「CAN WE, SHOULD WE?」の枠組みの一環として、以下について自問してください。できるからといって、それをするべきでしょうか？

私の行動はFoot Lockerの価値観や事業戦略と一致しているか？

その行動は私にとって正しいと「感じられる」か？

私は高い誠実さと倫理基準をもって仕事をしているか？

自分の決定に誇りを持ち、その結果に対して責任を負えるか？

リスクを評価したか？

私の行動はメディアや他の人々から肯定的に評価されるか？

私たちは健全な判断を行ったか？

答えがすべて「はい」にならない場合は、行動を停止して方針を変える必要があります。

**できるから
といって、
それをするべき
でしょうか？**

協働

私たちは協働することを大切にしており、チームとして戦略を立て、実行し、課題を乗り越えます。行動規範は、問題となる可能性のあるさまざまな領域を網羅していますが、直面する倫理的ジレンマをすべて網羅することはできません。問題や倫理的ジレンマに直面した場合は、他の人に助言を求め、問題を提起する必要があります。私たちは協働し、未曾有の時代において組織の成功を推進するために一丸となります。サポートが必要な場合は、**Locker Room Resource**のいずれかに連絡をすれば、疑問への答えや指針が得られます。

懸念を提起した場合は、真摯に受け止め、信頼にかなう調査が行われます。調査により不正行為が明らかになった場合は、状況に対する是正措置が講じられ、行動規範、法令、または当社のポリシーに違反した者に対して、雇用関係の終了を含む適切な懲戒処分が課されます。

声をあげる

当社のポリシー、行動規範、法令に対する違反や疑いを発見した場合は、懸念を報告する責任があります。違反に気付いたら、**声をあげてください**。違反を疑ったら、**声をあげてください**。事実をすべて知らない場合でも、自らに対する不正ではない場合も、会社に懸念を報告する責任があります。自分が知っている違反や疑いの報告を怠ることも、行動規範や法令に違反するとみなされる場合があります。



上司の行動が行動規範に違反しているか確信はありませんが、監査人やメディアが知った場合、当社に悪い印象を抱くかもしれません。報告が必要だと感じますが、報告した結果どうなるか、あるいは間違いだった場合が心配です。問題を提起してトラブルになるリスクを冒すべきでしょうか？



はい。行動規範や法令に違反している、またはそのように見えるあらゆる懸念は、提起する義務があります。**報告者への報復を禁止する**当社のコミットメントに基づき、善意によって懸念を提起した場合、あなたは保護されます。善意とは、正しいということではなく、単に自分の懸念に誠実であることを意味します。



声をあげて ください！

電話してください！

ビジネス行動規範ホットラインは、独立した第三者が運営し、24時間365日、複数の言語で利用できます。ホットラインへの懸念の報告は、現地の法令で認められる場合は匿名が可能です。



Our Locker Room Resources

- ▶ 直属の上司
- ▶ マネジメントチームの他のメンバー
- ▶ 人事チームのメンバー
- ▶ 当社のゼネラルカウンセル：
 - ▶ 住所：330 West 34th Street, New York, New York 10001
 - ▶ Eメール：counsel@footlocker.com
- ▶ 当社の監査委員会：
 - ▶ 住所：c/o General Counsel 330 West 34th Street, New York, New York 10001
 - ▶ 懸念事項は「CONFIDENTIAL (親展)」と記された封筒に密封してください。ゼネラルカウンセルが確認し、監査委員会に送られます。
 - ▶ 懸念事項を、直接、機密を保持して監査委員会に送りたい場合は、内側に封をした「監査委員会の委員長」宛の封筒に封入してください。ゼネラルカウンセルが開封せずに委員長に直接届けられます。
- ▶ ビジネス行動規範ホットライン：
 - ▶ 電話番号：1-866-839-5112 (米国およびカナダ用)
 - ▶ ウェブサイト：<http://footlocker.ethicspoint.com> (国際リソース用)
- ▶ 人材ソリューションホットライン：
 - ▶ 電話番号：1-800-324-7496





チームワーク

チームワーク

生産的な職場環境の構築	12
個人データの保護	13
会社の資産と機密情報の保護	14
責任あるコミュニケーション	15

生産的な職場環境の構築

私たちの目的を实践する： DIBsの価値観

私たちは、すべてのチームメンバーが強いコミュニティ意識を持ち、個人として大切にされていると実感し、帰属意識を感じられるDIBs（ダイバーシティ、インクルージョン、ビロング）の文化の維持に取り組んでいます。私たちは皆が、差別、ハラスメント、いじめ、違法薬物の使用、不適切または過度のアルコールの使用、攻撃的・敵対的な環境をつくる行動を避け、お互いを尊重する職場環境を維持する責任があります。

敵対的な職場環境

敵対的な職場環境は全員を傷つけ、当社のコアバリューに反します。以下の行動は禁止されています。威圧的または脅迫的な行動、下品または不快なジェスチャー、侮辱的または虐待的な発言、中傷やジョーク（保護されたグループを対象にしたもの）、その他の身体、口頭、書面、視覚によるハラスメントや差別的な行為。

差別の禁止

一般的に差別という言葉は、個人の特徴に基づき誰かに異なる扱いをすることを指します。

雇用に関するすべての意思決定は、個人の能力に基づいてのみ行われるべきであり、人種、民族、肌の色、宗教、国籍、性別、性自認や表現、性的指向、年齢、婚姻状況、身体的・精神的な障害、またはその他の法令で保護されているいかなるグループに基づいても行われてはいけません。



安全な職場の行動

チームメンバーは、当社主催のイベントや当社を代表する場でアルコールが提供される場合、良識ある行動をしなければいけません。また、当社のあらゆる店舗や施設内、または当社を代表して業務を行う際に、違法薬物の使用、所持、製造、流通は一切行ってはいけません。なお、当社のポリシーは、チームメンバーの業務のパフォーマンス、安全、または他者の安全に支障のない範囲において、適用法に基づき法的な処方が許可されている薬物の適切な使用を妨げるものではありません。また、郵便、Eメール、ソーシャルメディア上で、直接的な暴力行為、わいせつ・虐待的・脅迫的な言葉やジェスチャーの使用を含め、脅すような行為を行ってはいけません。グローバルな労働衛生安全の規則については、investors.footlocker-inc.com/safetyを参照してください。

ハラスメントの防止

ハラスメントは、誰かの業務の遂行に対する干渉や、攻撃的・脅迫的・敵対的な職場環境をつくるあらゆる行動を含みます。私たちは、公正かつ適法のポリシーや慣例を適用し、あらゆる形式のハラスメントや差別を排除した職場を維持することに取り組みます。性的ハラスメントは絶対に許容されません。性的ハラスメントは、望まない性的接近や性的要求、視覚的・口頭的・身体的な性的行動への従業員の服従を雇用条件にすること、性的行動への従業員の服従や拒絶を個人の雇用に影響を及ぼす基準とすること、またはこれらの行動がチームメンバーの業務の遂行に不合理な干渉を与え、脅迫的で敵対的、不快な労働環境をつくる目的や影響があることを含みます。

ポリシーへの何らかの違反行為を発見した場合は、**Locker Room Resource**のいずれかに**報告してください**。

個人データの保護

私たちは、チームメンバーや顧客、その他の信頼を得ている関係者の個人情報を保護するために、適切な措置を講じることに取り組んでいます。インテグリティの取り組みとして、これらの個人情報を取り扱う際に注意を払う必要があります。

当社は、チームメンバー、求職者、顧客、ベンダー、ビジネスパートナーに関する特定の個人情報を収集、処理、共有しており、これらの情報に適用されるプライバシーとデータの保護法を遵守します。

#透明性

私たちは、会社の資産を使用する場合は、プライバシーが期待できないことを理解しています。当社は、法令に基づき当社のすべてのシステム上の情報を監視し、会社の資産を保護するために第三者と協力し、不適切なウェブサイトへのアクセスをブロックする権利があります。

データプライバシー

- ▶ 私たちが収集、保存、送信、共有、または他の方法で処理する個人データを保護する。
- ▶ 安全なネットワークアーキテクチャで保護されたシステムや物理的に安全な場所にのみ個人データを保存する。
- ▶ 個人データや当社の機器の紛失・盗難の可能性のあるいかなる状況も、**Locker Room Resource**、リスクマネジメント、情報セキュリティに報告する。
- ▶ 顧客、求職者、チームメンバー、および他の個人の個人データを処理する際は、透明性を確保することに取り組む。
- ▶ プライバシー・法務・契約のチームと協力して、適切な契約条件が整っていることを確認する。
- ▶ 詳しくは、My Locker Roomで入手できる**情報セキュリティポリシー**および**データ保護ポリシー**を参照してください。



安全を保つ

「個人データ」は、私たちが収集・処理し、個人を特定するために利用できるあらゆる情報を指します。個人データは以下の項目が含まれます。

- ▶ 職歴
- ▶ 財産に関する情報
- ▶ 政府発行の身分証明番号
- ▶ 連絡先情報
- ▶ 位置データ
- ▶ オンライン識別子

会社の資産と 機密情報の保護

会社の資産

私たちは会社の資産に囲まれ、それらを委ねられています。そして、適切な業務目的でそれらを使用し、紛失、盗難、損傷、浪費、または悪用を防ぐことが期待されています。サイバー攻撃やフィッシングメール、詐欺、盗難、または会社資産の悪用のいかなる疑いも報告してください。コンピューターや電話などの会社資産を、個人的な目的で勤務時間中に使用する必要がある場合は、使用が限定的で、業務を妨げず品質に影響が及ばない場合のみ許可されます。詳しくは、**情報セキュリティポリシー**を参照してください。

機密保持

当社や取引先に属する専有情報や機密情報、および顧客やチームメンバーに関する情報は非常に貴重な資産であり、慎重に取り扱う必要があります。これらの情報および他の非公開情報は機密情報とみなし、口頭的、電子的（ソーシャルメディアなど）、または紙や写真に関わらず、あらゆる形式の無許可の開示から情報を守るために、対策を講じる必要があります。機密情報を当社の敷地外へ持ち出したり、個人のデバイスへ保存したりすることは禁止されています。チームメンバーは、受け取る許可のない人と決して機密情報を共有してはいけません。いかなる理由で雇用が終了した場合も、機密情報はすべて当社に返却する必要があります。詳しくは、My Locker Roomにある**情報セキュリティポリシー**および**インサイダー取引に関するポリシー**を確認してください。



マネージャーが、まったく新しいフラッグシップストアのコンセプトを展開することを発表しました。最初の店舗は全国の主要な市場でオープンする予定です。私は、この刺激的なニュースを自分のソーシャルメディアに投稿しましたが、これは行動規範に違反しますか？



はい、違反の可能性があります。コンセプトストアや主要市場に関する情報は、特定の広報担当者だけが公表すべき機密情報です。この機密情報をソーシャルメディアで公表することは、他の法令や規制にも違反している可能性があります。

Omni-Digital の洞察

リモートワークを行っている場合も、機密保持と会社の資産の保護が重要であることを理解しています。

安全を保つ

会社の資産を個人的な目的で使用する際は、常に良識と常識を持ち、当社や顧客、自分自身、チームメンバーに迷惑を及ぼす使い方は決してしてはいけません。

「会社の資産」とは以下を含みます。

- ▶ 機器
- ▶ 商品
- ▶ コンピューター
- ▶ 会社が発行したデバイス
- ▶ 施設
- ▶ 資金、帳簿、記録

専有情報または機密情報は、当社または第三者のあらゆる非公開の情報です。情報の公開は、競合他社に有益であったり、当社のブランド、顧客、チームメンバー、株主、ビジネスパートナーに有害であったりする可能性があります。専有情報や機密情報の例としては、企業秘密、事業戦略、マーケティング計画、新製品の立ちあげ、財務情報などを含みます。チームメンバーの個人情報は、チームメンバーの明示的な同意なしに決して開示してはいけません。

責任あるコミュニケーション

誠実かつ正確な情報

デジタル化が進む現代において、顧客、株主、ビジネスパートナーは、当社が発信、関係するコミュニケーションが誠実かつ正確であることに信頼を寄せています。また、当社は公開企業として、特定のSEC規則に従い、事業情報および財務情報を共有する義務があります。ソーシャルメディア、メディア、広告、金融業界、あるいは一般の人々とのコミュニケーションなど、Foot Lockerのビジネスに関するすべてのコミュニケーションは、広報チームまたはIRチームが行う必要があります。私たちは、経営陣の一員から特別に許可がない限り、ソーシャルメディア上で企業を代表したり、代表しているように見せたりする行動をとることはありません。また、あらゆる形態のソーシャルメディアで公開するコンテンツに対して個人的な責任があること、およびソーシャルメディアについては責任ある形で使用しなければならないことを認識しています。



すべきこと

- ✓ 当社やブランド、チームメンバー、株主についての情報を求めるメディアや一般の人からの連絡や、当社と関係を築きたいと考える外部の関係者やベンダーからの問い合わせについては、**広報の手順**に従って対応してください。
- ✓ **ソーシャルメディアポリシーに従い**、常識を働かせ、投稿するコンテンツに責任を持ちましょう。
- ✓ オンライン上の発言は、当社のビジネスや評判に影響することを理解しましょう。**ソーシャルメディアポリシー**と**広報のポリシー**は**My Locker Room**で入手できます。
- ✓ マーケティングキャンペーンでは、当社の代表として適切にふるまい、ブランドとイメージを守るために責任を持ちましょう。
- ✓ プロフェッショナルな行動をし、当社や取引先に関する機密情報をソーシャルメディアで話したり共有したりしないようにしましょう。

すべきでないこと

- ✗ 会社、上司、チームメンバー、顧客、またはサプライヤーに関する、悪意のある、下品、わいせつ、脅迫的・威圧的な、いやがらせ目的のコメント、写真、動画、または音声をソーシャルメディアやコミュニケーションプラットフォームに投稿する。
- ✗ 自分を会社のスポークスパーソンのように見せたり、会社を代表して話しているように示唆したりする（ロゴの使用によってなど）。
- ✗ 当社または製品、財務、事業戦略や事業計画に関する機密、専有、非公開情報を、証券、プライバシー、その他の適用法に違反する方法で配布、議論、開示する。詳しくは、**My Locker Room**の**インサイダー取引に関するポリシー**を参照してください。



当事者意識と 透明性

当事者意識と透明性

利益相反の回避	18
贈り物と接待の受領	19
ベンダーおよび第三者との関係の保護	20

利益相反の回避

私たちは、会社の最善の利益のために行動し、実際のまたは潜在的な利益相反が生じたり、利益相反があるとの外観が生じたりするような状況を防止することで、誠実さとリーダーシップを示します。

健全な裁量権の行使

社外で参加するあらゆる個人的な活動は、当社への忠誠からは独立し、会社の最善の利益と決して競合してはいけません。

利益相反

個人的、金銭的、または家族の利益や関係（または家族の一員の利益や関係）が、当社の客観性や、会社の最善の利益のための行動を妨げたり、そのような外観を生じさせたりしている場合、利益相反の状況が存在します。私たちの行動やビジネスの意思決定は、個人的な利益や恩恵のもとに影響を受けるべきではありません。利益相反は常に発生する可能性があり、当社の評判だけでなく、自らの評判にも大きな損害を与えることがあります。利益相反が生じているのではないかという外観のみであっても、あなたの評判や当社のイメージに損害を与える場合があります。

すべきこと

- ✓ ビジネスの意思決定が、常に独立した判断と裁量を反映し、当社の最善の利益に基づいて行われるようにする。
- ✓ 利益相反が、家族の行動、雇用、または投資によっても生じる可能性があることを理解する。
- ✓ 同居している家族から、家族が関与している事柄で、利益相反を生じうる可能性のある事柄について情報を収集し、その情報を法務部門に書面で開示する。
- ✓ 当社に関連した商取引において生じる、あらゆる直接的または間接的な個人的利益は、法務チームに開示する。
- ✓ 社外のビジネス活動、たとえば副業などを行う前に、ゼネラルカウンセルに書面での承認を求める。

すべきでないこと

- ✗ 会社の資産、自分の立場、または影響力を悪用して、副業などの社外活動を推進する。
- ✗ 個人的な利益を追求したり恩恵を得たりするために、ビジネス上の関係を利用する。
- ✗ 取引先や、当社との取引を求めるベンダー、当社との間で不動産や個人資産の購入、販売、リースを行うあらゆる企業、または競合他社と「重要な金銭的利害関係」を有する。「重要な金銭的利害関係」とは、個人の状況の実態により異なるが、一般的には自らが企業の役員、取締役、パートナー、オーナー、または従業員である場合や、公開会社の株式保有率1%以上を有していることなどを指す。
- ✗ 自らの立場を利用して、当社や当社のビジネスに有害となる方法で、購入、契約、リースなどの商取引に影響を与える。
- ✗ 自分や監督下のチームメンバーの誰かが、当社の小売店舗、カタログ、オンラインで販売する商品の購入に責任がありながら、ミューチュアルファンド以外の、あらゆる当社の主要商品のベンダーの株式を所有したり、その他の金融的利益を得たりしている。



私のチームは、複数の店舗を改装するために請負業者を選定するプロセスにあります。夫は、検討中の企業の一社でパートナーを務めています。これは、利益相反の問題に当たりますか？



はい、潜在的な利益相反です。直ちに上司とゼネラルカウンセルに関係を開示し、プロジェクトのベンダー選定プロセスから外れる必要があります。他の社内関係者がこのベンダーを維持する決定をした場合は、行動規範に基づく免除をゼネラルカウンセルに申請する必要があります。



十代の息子が、ベンダーの一社から雇用のオファーを受けました。息子の雇用に関して、私は何かする必要がありますか？



はい。利益相反ポリシーは家族にも適用されます。あなたの息子は、ベンダーの従業員として、

ベンダーに対して「重要な金銭的利害関係」を有することになります。この関係を開示し、行動規範に基づく免除をゼネラルカウンセルに申請してください。



義兄が、当社の家主の一社に雇われていることを知りました。義兄とは同居していません。このことを開示する必要がありますか？



はい。同居していない家族に対しては、潜在的な利益相反の確認のために情報を求める必要はありませんが、義兄の雇用関係が判明したのであれば、開示の必要があります。同居している家族に対しては、潜在的な利益相反の情報を求める必要があります。



贈り物と 接待の受領

誠実さをもって関係を構築する

贈り物および接待やおもてなしの申し出は、ビジネスパートナーとの関係を構築する良い方法ですが、ビジネスの決定に影響を与えたり、客観性を損ねたり、義務感が生じたりする可能性のある贈り物や接待を提供したり、受け取ったりすることは慎重に避ける必要があります。

ポリシーに必ず従い、適切な行動が不明な場合は、[Locker Room Resource](#)からガイダンスを入手してください。



ルールを守るためには...

- ▶ 現金や現金同等物を決して提供したり、受け取ったりしない。
- ▶ 贈り物、接待やおもてなしの申し出を要求しない。
- ▶ 家族に提供された贈り物や接待は、自分に提供されたとみなされる場合があることを理解する。
- ▶ 上司や他の[Locker Room Resource](#)の知識と承認のみで、ベンダーから「製品の着用テスト」または「サンプル製品の配布」の製品を受け取る。
- ▶ 「製品の着用テスト」または「サンプル製品の配布」に関わる際は、規模、費用、頻度が過度とならないよう、誠実に実施する。
- ▶ 正当なビジネス上の目的があるビジネス関連の行事や活動に参加することは、当社のビジネス上の慣習であり、特別な重大性はない。
- ▶ ベンダーが提供する旅行については、[My Locker Room](#)の[トラベルポリシー](#)を参照して、指針と必要な承認を得てください。



ベンダーの一家から、ワールドカップに参加するチケットの提供の申し出がありました。交通費を自己負担すれば、チケットを受け取ってもよいでしょうか？



一つのイベントへの招待は、規模や費用、頻度が過度でない場合は受け取っても構いません。ただし、ワールドカップの複数の試合を観戦するチケットを受け取るのは過度であり、たとえ地元での試合でも、ベンダーから申し出があったチケットを受け取るべきではありません。行動規範では定めていませんが、利益相反があるとの外観が生じないように、チケットの費用をベンダーに返金することが望ましいです。

ベンダーおよび 第三者との関係の保護



高い基準に対する取り組み

ベンダーや第三者プロバイダーの選定や関わりにおいては、客観的である必要があります。私たちは、当社の高い基準を満たすか、それを上回る商品やサービスを提供するベンダーおよび第三者と取引するよう取り組んでいます。ベンダーまたは第三者の選定や購入に関与する場合は、個人的な利益に基づいたり、そのように見えたりする意思決定は避ける必要があります。



金額が150米ドル以上のホリデーギフトバスケットがベンダーから届きました。これは受け取ってもよいか、それとも返却した方がよいでしょうか？



通常、ホリデーギフトバスケットは受け取ってもよいギフトの一種です。ただし、この場合は金額が許容範囲を超えるため、公共の場所に置いて他のチームメンバーと共有するべきでしょう。

贈り物を 受け取っても よいですか？

私たちは、「名目価値」がある贈り物を提供したり、受け取ったりする機会があります。名目価値は、150米ドル（または現地通貨での同等額）以下の価値を指します。賄賂やキックバックとみなされたり、ビジネスの意思決定に影響を与える意図があったり、ビジネス上の利点と引き換えにしたりするような贈り物や接待は避けなければいけません。

価値に関わらず、贈り物を提供したり、受け取ったりする前に、次のように自問しましょう。

- ▶ この贈り物や接待は、事業に関する議論に影響を与える意図があるか？
- ▶ 贈り物は要求されたものであったか？
- ▶ この人物や企業と頻繁に贈り物を提供したり、受け取ったりしているか？
- ▶ このやりとりは、特別な扱いや優遇的な扱いをもたらすか？

答えのいずれかが「はい」である場合は、贈り物を受け取るべきではありません。すべての答えが「いいえ」である場合は、名目上の贈り物を受け取ることができます。



すべきこと

- ✓ ベンダーやその他のビジネスパートナーは、能力やビジネスに関する基準でのみ選定する。
- ✓ すべての支払いに関して、完全で正確な文書を提供し、類似サービスの通常料金と一致するようにする。
- ✓ 取引先、または当社との取引を求めるベンダーや第三者のサービスや商品を、個人的に使用したり購入したりする場合は特に注意する。
- ✓ ベンダーまたはビジネスパートナーから、個人的使用のために購入するサービスや商品に対し、常に公正な価値（慣例的で通常一般の人々に請求される）を支払う。
- ✓ ベンダーやビジネスパートナーから5,000米ドル（または現地通貨での同等額）以上の商品やサービスを購入する場合は、事前にゼネラルカウンセルの承認を得る。

すべきでないこと

- ✕ 家族が重要な金銭的利害関係を有する（家族の一員がベンダーに雇用されているなど）ベンダーやビジネスパートナーの選定に参加する。
- ✕ ビジネスの意思決定に影響を与える可能性があったり、影響を与えるように見えたりする、名目上の価値以上の贈り物を受け取る。



私が一緒に仕事をしているベンダーの一社に2日間の会議への参加に招待され、登録料、旅費、宿泊費は負担すると申し出がありました。ベンダーは会議のスポンサーです。この招待を受けてもよいですか？



ベンダーが会議のスポンサーであるため、会議に参加することはできます。ただし、旅費と宿泊費は当社が負担する必要があります。また、本件についてゼネラルカウンセルに開示する必要があります。

財務の 完全性

財務の完全性

財務の完全性の維持と不正防止

23

インサイダー取引の防止

24

財務の完全性の維持と不正防止

私たちは、完全な財務報告を維持し、不正行為の防止に取り組んでいます。不正行為の例には、小切手または他の文書の偽造や改ざん、資金または他の資産の横領、金銭・在庫・金融取引の不正な取り扱いや報告、盗難や不正行為、記録・在庫・備品・機器の破壊や消失などがあります。

財務の完全性

Foot Lockerの財務諸表や業務記録は、すべての取引を正直かつ正確に反映する必要があります。正確な財務報告を保証するために、特別なプロセスおよび管理が設計されています。私たちは皆、内部統制に従い、統制に違反するいかなる状況も報告する責任があります。

- ▶ 社内外のすべての監査人、会計士、および監査プロセスに協力し、財務諸表の監査やレビューの実施に対して誤解や不適切な影響を与えない。
- ▶ 当社の情報開示に関する内部報告手続きに従う。
- ▶ 疑問や懸念事項がある場合は、**Locker Room Resource**または直接ニューヨークの最高財務責任者または最高会計責任者に提起する。

ルールを守るためには...

- ▶ 事業上の取引すべてに関して、完全かつ正確で適時の記録と会計を保持する。
- ▶ 資産、負債、収益、費用を記録する際は、適切な証拠書類を提供し、決して情報の改ざんや脱落をしない。
- ▶ タイムシート、請求書、経費報告書の誤謬などの文書の誤りを確認し、報告する。
- ▶ あらゆる書類、記録、システムにおいて、虚偽またはその疑いのある記述、誤解を招く記入、重要な情報の脱落を報告する。

すべきこと



- ✓ インサイダー取引法への違反は、当社と関与した個人の両者に重大な結果をもたらす可能性があることを理解する。これには、雇用関係の終了、民事責任、刑事訴追などが含まれる。
- ✓ **My Locker Room**で入手できる**インサイダー取引に関するポリシー**を確認し、理解を深める。

すべきでないこと



- ✗ 重要な非公開情報を知り得た状態で、株式や証券の取引を行う。
- ✗ 重要な非公開情報に基づき、他の人に「ヒント」の共有や提供を行う。

会社の記録

すべてのチームメンバーは、当社の記録と情報開示の情報が、完全かつ正確であり、内部統制や手続きに従っていることを確実にする義務があります。当社の記録には、財務諸表、出張・経費報告書、売買に関する文書、内部の管理報告書などが含まれます。また、当社の記録は、報告書、スプレッドシート、Eメール、ウェブページの内容、写真、動画などの、紙および電子形式の両方の文書を指します。

インサイダー取引の防止

業務の過程で、当社、顧客、ベンダー、パートナー、競合他社、取引先、当社との取引を求める企業、または交渉先に関する「重要な非公開」の情報に触れる場合があります。一般的に、企業に関する重要な非公開情報を知り得た状況で株式やその他の証券を取引したり、他の人に情報を提供したりすることは違法です。

インサイダー取引禁止に関するポリシーはMy Locker Roomで入手できます。

#インテグリティ

取締役会のメンバーや役員、その他の制限のある個人など、特定の人は株式取引に特別な制限を受けます。通常、該当者は、四半期の収益が公表された後の「オープンウィンドウ」期間にのみ当社の株式取引が許可されます。ウィンドウ期間は、収益公表の翌営業日から開始されます。質問がある場合は、インサイダー取引禁止に関するポリシーを参照するか、ゼネラルカウンセルに相談してください。



インサイダー取引の
実例をあげられますか？

たとえば、財務管理会議で、あるチームメンバーが当社の四半期の収益が予想を上回るという情報を知り、父親に伝えました。父親はその後、当社の株式を購入しました。収益が公表されると、株価が上昇し、父親は株式を売却しました。この場合、チームメンバーと父親の両者が法令に違反したことになります。



当社が販売する商品の購入に責任がある場合、自分や同居している家族は、商品のサプライヤーの株式を所有できますか？

いいえ、店舗、カタログ、オンラインの販売商品の購入に責任がある場合、自分や家族は商品のベンダーの株式を所有したり、金銭的利益を得たりすることはできません。



重要な 非公開情報

「重要な非公開情報」は、合理的な投資家が取引を決定する際に重要とみなすあらゆる非公開情報を指します。これには、当社の株価に合理的に影響を及ぼす可能性のあるあらゆる情報が含まれます。重要な情報の例としては以下があげられますが、これに限定されるものではありません。

- ▶ 売上および／または収益の結果
- ▶ 予想を大幅に上回るまたは下回る売上結果
- ▶ 配当や株式分割の措置
- ▶ 買収や重要な事業の売却・譲渡を含む戦略計画
- ▶ 新しい製品ラインまたは主要なベンダーの獲得または喪失
- ▶ 経営陣の交代
- ▶ 買収
- ▶ ベンダーやその他の第三者との関係の契約または終了

コミュニティ への 貢献

コミュニティへの貢献

良き企業市民の実践	26
政治プロセスへの参加	27
賄賂と腐敗の防止	28
競争法の遵守	29

良き企業市民の実践

私たちは、自分たちが暮らし働く場所に変化をもたらすことに取り組んでいます。地域社会への貢献に尽力し、有意義でポジティブな影響を生み出す私たちの約束を果たします。



人種の不平等に対する闘い

LEED（教育と経済的発展を先導する）の活動を通じて、アフリカ系アメリカ人の労働者やコミュニティを支援し、人種の不平等との闘いに取り組んでいます。



公正な雇用慣行

最低賃金、休憩時間、労働時間の上限を規定するすべての適用法を完全に尊重します。



責任

当社のベンダーや第三者がこれらの基準を守り、すべての法令を遵守することを望みます。



人権

すべての業務や施設において人権を守り、児童労働搾取、身体的な罰、虐待、強制労働などの兆候に注意を払っています。グローバル人権声明については、investors.footlocker-inc.com/humanrightsを参照してください。



慈善寄付

チームメンバーから慈善寄付を募る際は、慎重を期し、プレッシャーをかけないようにしています。ベンダーに寄付を募ることは決してありません。Foot Locker Foundationが支援するさまざまなボランティア活動や慈善活動、プロジェクトに参加し、地域社会に参画するよう取り組んでいます。

政治プロセスへの参加

政治プロセスに参加する場合は、常に活動を自分の職務上の責任と切り離し、自分の時間とリソースにおいて行わなければならない。

政治的な要素

当社は、企業の政治活動に適用されるすべてのロビー活動法と規制を遵守しています。あらゆる国の政党、政治行動委員会、政治候補者、または公職者に対して、当社を代表していかなる寄付も行うことを控えています。

すべきこと



- ✓ 政治活動にはプロフェッショナルに臨む。
- ✓ 政治活動は個人の時間とリソースの範囲内でのみ行う。
- ✓ 当社の勤務時間中や敷地内で、外部の個人や組織が政治的な寄付を募らないようにする。
- ✓ 一部の組織に対する寄付は、ゼネラルカウンセルの承認があれば許可されることを理解する。たとえば、小売業界や事業業界全体に対する 一般的に重要な課題の提言活動を主目的とする複数の業界団体 (RILAなど) への加盟など。

すべきでないこと



- ✗ 取締役、役員、チームメンバー、ベンダー、または取引先に対し、政治的な寄付を募る。
- ✗ 政党、政治行動委員会、政治候補者、または公職者に対し、当社を代表して寄付を行う。
- ✗ 個人で行う何らかの政治的な寄付に対して、会社に費用の払い戻しを求める。
- ✗ 個人の時間で行った政治活動を会社に帰属させる。



賄賂と腐敗の防止

賄賂と腐敗防止

私たちは、公正かつ倫理的に事業を行い、賄賂と腐敗を禁止するすべての法令を遵守します。疑惑を生じさせるような外観も問題であることに留意し、不正行為を示唆する可能性のある行動には決して関与してはいけません。

私たちは常に、賄賂や腐敗とみなされる可能性のある行動や、そのように見える行動を避ける必要があります。これは、地域の慣習や、私人、民間企業、政府、公務員との仕事にも関係なく当てはまります。商取引における賄賂を禁止する法令は、米国の海外腐敗行為防止法 (FCPA)、英国贈収賄防止法、イタリアの法令231/01など世界各地に多く存在し、私たちはこれらの法令を遵守しなければなりません。法令および当社のポリシーは、あらゆるチームメンバーまたは当社に代わる第三者に対して、いかなる形式の賄賂やキックバックの提供や受け取りも厳格に禁じています。賄賂は、当社や関与する個人に深刻な罰金、罰則、服役などの重大な影響をもたらす可能性があります。

腐敗防止法は、ビジネス上の有利な決定を引き出すためにあらゆる価値あるものの提供を申し出ることを禁止しています。これらの法令は、賄賂の申し出だけではなく、賄賂の受領、約束、提供も禁止しています。私たちは、当社のポリシーに従い、ビジネスを倫理的に行う責任があります。

ルールを守るためには...

- ▶ あらゆる価値あるものの受領、提供、約束、または許可が、ビジネス上の決定を不公正な方法で獲得したり、決定に影響を与えたりする手段となったり、そのように見える可能性のある状況避ける。
- ▶ 「おもてなしや接待」は、合法かつ適正な価値と頻度でなければならず、常に正当なビジネス上の目的が必要であることを理解する。
- ▶ あらゆる腐敗または詐欺の可能性を警戒し、状況が不明な場合は質問する。
- ▶ **My Locker Room**で入手できる**腐敗防止ポリシー**に率先して従い、あらゆる潜在的な腐敗行為は**Locker Room Resource**に直ちに報告する
- ▶ 私たちは第三者の行動に責任を問われる可能性があり、私たちが直接行うことが禁止されている行為を第三者に許可してはならないことを理解する。

賄賂および キックバック

「賄賂」は、個人が直接または間接的に（当社に代わる第三者を通じて）誰かに対してあらゆる価値あるものの提供、申し出、約束を行い、事業の獲得や維持をしたり、ビジネスの意思決定に影響を与えたり、不正な利益を確保したりする行為を指します。賄賂はさまざまな形態を取る可能性があり、現金である必要はありません。「価値あるもの」は、現金同等物（ギフトカードやギフト券など）、贈り物、接待やおもてなし、旅費の支払い（特に旅行に明確なビジネス上の目的がない場合）、休暇、将来の仕事の提供やその他の割り当てまで含む可能性があります。賄賂には、賄賂の申し出、約束、提供、受領、要求が含まれます。

「キックバック」は、支払い済みの金銭、または契約の一環で支払うべき金銭が、商談成立の見返りとして返還されることを指します。

競争法の遵守

私たちは、公正で透明性のある市場を支持し、企業間競争の奨励のもとでのみ、自らの目的を達成し、競争に取り組んでいます。特定の行為が競争を妨げたり制限したりする場合、独占禁止法違反とみなされる可能性があります。禁止される行為には、当社と実際のまたは潜在的な競合他社、またはベンダーとの間の、議論、合意、非公式な了解が含まれます。ベンダー、競合他社、顧客とは公正な取引を行い、常に販売する製品を正確に表現しなければなりません。

公正な競争

当社が事業を行う国には競争法または「独占禁止法」があり、通常、競合他社間の競争を妨げる価格や市場分割に関する議論、慣行、協定、了解を禁止しています。私たちは、市場で競争するための行動を規定するすべての法令や規制を遵守します。

以下のことは行わないように 留意してください。

- ▶ 競合他社に対し、当社の価格設定、価格ポリシー、コスト、マーケティング計画や戦略計画を開示する。
- ▶ 当社が購入または販売する商品やサービスの価格およびその他の販売条件（割引や宣伝など）を調整する。
- ▶ ベンダーまたは競合他社について虚偽の発言をしたり、販売する製品を貶めたりする。
- ▶ 競合する製品、サービス、ベンダーについて、顧客、市場、地域の分割または割り当てに同意する。
- ▶ 特定の市場、顧客、ベンダー、商品、またはサービスに対するボイコットに参加する。
- ▶ 提案した行動計画が競争を排除すると伝えたり、示唆したりする。

声をあげましょう！

上記いずれかの事案の発生に気付いた場合は、**Locker Room Resource**またはゼネラルカウンセルに報告してください。

#インテグリティ

業界団体は、業界のトレンドを議論する貴重な集会です。業界団体に参加する場合は、競争法や独占禁止法に違反する可能性や、そのような見える行動を避けるよう注意しましょう。業界団体の会議への参加を介していても、上記の禁止行為が合法にはならないことに留意してください。



ベンダーは、私たちが注文数量を増やせば、競合他社に同価格で製品を提供しないと約束しています。この申し出を受け入れてもよいですか？



いいえ。ベンダーとの間で、彼らが競合他社に提供する製品価格について決して合意してはいけません。



ベンダーの一家が、新学期向けに新商品を発売します。もしベンダーが当社の競合他社の一家にも新商品を販売するのであれば、当社の購買数量を減らすと伝えてもよいですか？



いいえ。当社の購買数量を、ベンダーの競合他社への販売の決定に結び付けることはできません。これは、独占禁止法や競争法に違反する行為となります。



コンプライアンス

コンプライアンス

免除と承認	31
証明書のリソース	32

免除と承認

特定の限られた状況において、当社は行動規範に基づく免除の申請を検討する場合があります。免除は特別な軽減事由があり、ゼネラルカウンセルが承認する場合のみ許可されます。役員および取締役に対する免除は、取締役会の監査委員会によってのみ承認されます。役員や取締役の免除については、すべて当社のウェブサイトで公開されます。

ゼネラルカウンセルの承認が必要な行動の例は、以下の通りです：

サプライヤーの個人的利用

当社の取引先、または取引を求める個人や法人のサービスを個人的な目的で使用したり商品を購入したりする際に、その公正な価値が5,000米ドル（または現地通貨での相当額）を超える場合。

社外のビジネス活動

チームメンバーがパートタイムまたはフリーランスとして他の仕事を行うなどの、社外のビジネス活動に参加する。

慈善寄付

Foot Locker Foundation（「On Our Feet」など）がスポンサーとなっている活動以外で、ベンダーから慈善寄付を募ったり、寄付を募る目的で他の人にベンダーの一覧を提供したりする。

政治的な寄付

立法、規制、または類似の公共政策の問題の支援を主目的とする組織に対し、会社を代表して寄付を行う。

会社への開示

以下の通り、行動規範には他にも会社への開示が必要となる規定があります。

- ▶ **第三者との金銭的利害関係：**あなたや家族が、当社の取引先や、取引を求めている企業、または競合他社と「重要な金銭的利害関係」を有している場合、ゼネラルカウンセルに開示する必要があります。
- ▶ **賄賂：**賄賂の申し出があった場合、直ちにゼネラルカウンセルに報告する必要があります。
- ▶ **独占禁止法・競争法違反：**競合他社やサプライヤーが独占禁止法の問題を引き起こす可能性のある話題を提起した場合、話し合いを終了し、ゼネラルカウンセルに連絡する必要があります。

ゼネラルカウンセルには、counsel@footlocker.com宛にEメールで連絡することができます。



地元の学区で非常勤の仕事をしたいと思っています。このポジションを受けて入れもよいですか？



状況によります。提案を受けた社外のビジネス活動については、上司とゼネラルカウンセルに開示する必要があります。活動があなたの業務を妨げず、また機密保持ポリシーに従うのであれば、ポジションを受け入れることができます。行動規範に基づき、ゼネラルカウンセルが承認します。なお、当社のいかなる消耗品、コンピューター、その他の資産も、社外のビジネス活動には使用できません。



ビジネス行動規範の証明書

証明書

ビジネス行動規範へのコミットメントに対する同意が、新入社員研修の一環、および年次の確認として求められます。さらに、利益相反の開示を含め、いかなる報告されていない行動規範の違反も認識していないことを確認するよう求められます。

ポリシー

行動規範で言及されているポリシーは以下の通りです。

腐敗防止ポリシー

データ保護ポリシー

情報セキュリティポリシー

トラベルポリシー

インサイダー取引禁止に関するポリシー

広報のポリシー

ソーシャルメディアポリシー

これらのポリシーは、

MyLockerRoom<https://footlocker.sharepoint.com/sites/MyLockerRoom>で入手できます。

リソース

Our Locker Room Resources (10ページ)

その他のリソース

- ▶ **第三者との金銭的利害関係**
HRServices@footlocker.com General Counsel.
- ▶ **IR**
IR@footlocker.com
- ▶ **広報部門**
MediaRelations@footlocker.com
- ▶ **テクノロジーサービスデスク**
Technology.Services@footlocker.com
- ▶ **Loss Prevention**
Technology.Services@footlocker.com

Foot Locker

Kids Foot Locker

CHAMPS
SPORTS



atmos